

中世ヨーロッパとルネサンス

縄文

弥生

古墳

飛鳥

奈良

平安

鎌倉

室町

安土桃山

今日の問い

中世から16世紀のヨーロッパで、文化や宗教はどのように変わったのだろう。

読み終えたら、最後の「問いへの答え」を見る前に、自分の言葉で答えてみよう。

1 中世ヨーロッパとイスラム世界

中世の世界

ローマ教皇

カトリックの最高指導者。中世に大きな権威を持った。

十字軍

聖地エルサレムを取り戻すため、教皇の呼びかけで送られた軍。

イスラム世界

イスラム教を中心とする世界。学問や商業が発達した。

中世のヨーロッパでは、キリスト教が人々の生活や考え方に大きな影響を与えた。キリスト教(カトリック)の最高指導者である **ローマ教皇** は、各地の国王や貴族をこえるほどの大きな権威を持つこともあった。

西アジアや北アフリカには、7世紀に成立した **イスラム教** を中心とする **イスラム世界** が広がり、商業や数学・医学などの学問が発達した。聖地エルサレムがイスラム勢力に支配されると、11世紀末から教皇の呼びかけで **十字軍** が何度も送られたが、最後は目的を果たせなかった。

イスラム世界では、古代ギリシャの書物がアラビア語に翻訳されて保存された。十字軍や地中海の貿易を通じて、これらの学問はのちにヨーロッパにも伝えられた。

2 ルネサンスと宗教改革

文化と宗教の変化

ルネサンス

14世紀にイタリアで始まった、古代の文化を見直す動き。

宗教改革

1517年にルターが始めた、カトリック教会を批判する運動。

イエズス会

宗教改革に対抗してできたカトリックの組織。海外布教に努めた。

14世紀のイタリアでは、イスラム世界から伝わった学問なども取り入れながら、古代ギリシャ・ローマの文化を見直し、人間らしさを重んじる **ルネサンス** (文芸復興) が始まった。「モナ・リザ」を描いた **レオナルド・ダ・ビンチ** や **ミケランジェロ** らが、すぐれた作品を残した。

1517年、ドイツの **ルター** は、教会が免罪符(贖宥状)を売ることを批判し、聖書を信仰のよりどころとするよう説いた。こうして始まった **宗教改革** はスイスの **カルバン** らにも広がり、その考えに従う人々は **プロテスタント** とよばれた。15世紀に改良された活版印刷術によって、聖書やルターの考えは各地に広まった。

これに対し、カトリック側は **イエズス会** をつくって勢力を立て直そうとし、アジアやアメリカ大陸への布教に力を入れた。

14世紀
ルネサンス
イタリアから

人間らしさを
重んじる文化

1517年
宗教改革
ルター

プロテスタント
の誕生

問いへの答え

中世のヨーロッパでは、ローマ教皇を頂点とするキリスト教(カトリック)が大きな力を持ち、教皇の呼びかけで、イスラム世界から聖地を取り戻すための十字軍が送られた。14世紀には、イタリアで人間らしさを重んじるルネサンスが始まった。16世紀にはルターらが宗教改革を始めてプロテスタントが生まれ、カトリック側はイエズス会をつくって海外への布教を進めた。

次は **ノート** で、下線に語句を書きながら確かめよう →

